



MYU CAREER

宮城大学 キャリア・インターンシップセンター

MIYAGI UNIVERSITY
Career & Internship Center

Contents

-
- Developing expertise, leadership, and self-control in students, strengthened by reliable education
- Students' self-directed studies and their efforts
- Cooperation with companies and local governments
- Our graduates outstanding at work in a variety of fields
- Jobs and additional studies after their graduation

確かな教育に基づく専門力、人間力の育成

宮城大学では、基盤教育や専門教育に加えて、
インターンシップを含めたキャリア教育の充実を図ることにより、
高度な実学に基づき、豊かな人間性、高度な専門性及び確かな実践力を身につけ、
グローバルな視点で地域社会や日本経済の発展に貢献できる人材を育成しています。

キャリア教育・支援プログラム

インターンシップ・プログラム

キャリア開発室のサポート

中長期的な視野に立ったキャリア教育を目指し、全学群にて1年次後期から3年次後期にわたり充実したキャリア教育科目を用意しています。その充実したプログラムの中で、学生自身がじっくりと自分と向き合いながら自己のキャリア形成を考え、それを実行に移すことのできる様々な機会を提供します。

低学年から、キャリア教育科目と連動し、対面型やオンライン型など多様なインターンシップ・プログラムを実施します。さらに、専門分野別のプログラムも提供します。就活に直結する公募型インターンシップ、学生向けビジネスコンテスト、アイデアソン等の様々なプログラムの情報提供も積極的に行います。

キャリア開発室では、学生の個性と適性、そして希望する様々なライフプランに沿ったキャリア形成を、企業情報の提供、就職関連のガイダンス、個別企業説明会、そして学内合同業界研究セミナー等を提供し、年間を通じて多角的にサポートします。

4年間を通じたキャリア教育及び就職支援

	1年次	2年次	3年次	4年次	卒業後の進路
	進路選択やキャリア形成の意識を高めるため、客観的ツール等も用いて自己特性を把握する。		目標を絞り、その実現に向けた知識と実践力、スケジュール管理能力等を磨く。	専門力、人間力を活かした就職活動を通じて自己実現を目指す。	
看護学群	スタートアップセミナーII (キャリアガイダンス①)	キャリアガイダンス② 医療機関等インターンシップ 公務員・教員採用試験対策	キャリアガイダンス③ 看護師・保健師国家試験受験対策 国家試験対策ガイダンス、模擬試験、模擬試験解説会、直前講座	就職活動支援	看護学群 就職率(令和4年度) 100% 看護師国家試験合格率 (第113回:全国平均93.2%) 100% 保健師国家試験合格率 (第110回:全国平均97.7%) 100%
事業構想学群	スタートアップセミナーII (キャリアデザインの基本)	キャリアデザインI キャリアデザインII 公務員試験対策講座 インターンシップ (プレ・インターンシップ) インターンシップの意義や目的を理解したうえで主体的に参加し、その経験を大学での学びの深化や新たな学習意欲の喚起につなげる。	キャリアデザインIII キャリアデザインIV 各種就職活動支援セミナー／学内合同業界研究セミナー／業界研究会等 公募型／専門分野別 インターンシップ 社会における実際の仕事に触れ、組織のメカニズムを知り、そこで得た経験や人脈を職業選択や就職活動に活かす。	個別企業説明会等	事業構想学群 就職率(令和4年度) 98.9% 就職率(令和3年度) 96.2% 就職率(令和2年度) 95.9%
食産業学群	スタートアップセミナーII	インターンシップ キャリア開発 インターンシップ・アドバンストコース (学外研修)	キャリア インターンシップ 実践キャリア開発	就職活動支援	食産業学群 就職率(令和4年度) 100% 就職率(令和3年度) 99.1% 就職率(令和2年度) 100%

教職員とともに、キャリア開発室や進路指導員が1年次より

キャリア開発室では、個々の学生の特性に適したキャリア形成に役立つように、学生の進路選択の相談に乗るとともに個人面接及び

4年間を通していつでも学生のキャリア形成に向けた活動をサポート

グループ面接の練習の他、エントリーシートの書き方等、就職活動に必須の実践に則した様々な個別指導、相談を行います。

看護学群



キャリアガイダンス①～③

4年次に学生自身が進路決定できるように、1年次から3年次まで、講義・グループワーク・先輩の体験談などを通して、個々の学生が自らの適性を考え職業の選択ができる能力を育成します。

事業構想学群 食産業学群



キャリアデザイン・キャリア開発

卒業後、自分がどのような生き方をしたいのか、そしてどのようなかたちで自分が社会にかかわっていくのかを考え、そのスタートに向けた準備を行います。

事業構想学群 食産業学群



インターンシップ

就業体験を通じて自己理解と職業理解を深め、自らのキャリアビジョン（職業生活設計）や職業観を明確化していきます。そして、それをその後の大学での学びや職業選択につなげます。

看護学群



国家試験対策

「看護師」「保健師」の資格は、国家試験の合格をもって得られる資格です。3年次から定期的に模擬試験と解説会を行い、学びを定着させます。また、国家試験合格に向けて教員のサポート体制を構築しています。

看護学群 事業構想学群 食産業学群



公務員試験対策

行政事務、建築、保健師など公務員を目指す学生を対象に、教養試験と専門試験の対策講座をはじめ、論文添削や面接指導、また個別自治体説明会など多岐にわたり支援プログラムを実施しています。

事業構想学群 食産業学群



合同業界研究セミナー

学生による主体的なキャリア形成への意識づけ、また職業観や勤労観の涵養を目的に、企業、自治体の採用担当者や本学のOBOGを招聘し、業界、企業を広く研究する機会を設けています。

学生の主体的な学びとチャレンジ

地域創生学類学生が

地域の歴史を受け継ぐ新拠点の創出企画に参画

富谷市の新たなビジネス創造の拠点「富谷市ビジネス交流ベース 荷宿-NIYADO-」の企画に地域創生学類の学生が参画しました。市民の声を取り入れた施設づくりを目指すため富谷市と連携し、市民参加型のワークショップなどを企画。物流や交流の拠点として地域に親しまれてきたこの場所の歴史や想いを未来に語り継ぐためのあり方を検討しました。施設の使い方やロゴマークに、学生のアイデアが取り入れられています。



おもちサークルが

お茶の井ヶ田限定商品「十日もち」をリニューアル

東北地方の産業振興や地域連携に取り組む西川正純教授が顧問を務めるおもちサークルが、お茶の井ヶ田の限定商品「十日もち」の開発を行い、県内7店舗で販売されました。お茶の井ヶ田によるこの企画は、学外での実習機会が減少している学生に実践型の学びの場を提供することで、新しい価値創造と顧客満足に繋げていくことを目的にしたもので、メニュー開発のほか、食べ歩きできる容器やロゴに学生たちのアイデアが活かされています。



食産業学群学生が

「村田町まちあるきマップ」を制作

地域の歴史・文化・資源を活かしたコミュニティづくりや、地域の方々と共に課題解決ができる人材を育成するコミュニティ・プランナープログラム(CP)。CP実践論に参加した食産業学群の学生2名が、実際に町を歩き感じた歴史や人々の想いを丁寧に落とし込んだ「まちあるきマップ」を制作し、村田町役場などに贈呈しました。「まちあるきマップ」は中国語にも翻訳され、台湾での観光案内にも活用されています。



看護学群がJICA青年研修事業

「母子保健実施管理コース」を実施

看護・保健分野での国際貢献と国際交流を推進する看護学群が、JICA(国際協力機構)東北主催による青年研修「母子保健実施管理コース」の受け入れを実施しました。アフリカ地域6か国の研修員10名が仙台に滞在し、自国における母子保健上の課題解決への取り組みに資する知識や意識を向上させることを目的とした研修を行いました。大和キャンパスでの研修時には看護学群の学生と母子保健や思春期保健に関する意見交換を行いました。

三菱地所と学生がチームを組み

こいのぼり作りのクラフトワークショップを開催

学生と三菱地所がワーキングチームを組み、地域住民との企画に取り組みました。舞台は多世代交流をテーマとした泉パークタウンの交流拠点「寺岡 Knots」。学生らがファシリテーターとなり地域の小学生との「こいのぼり作り」のクラフト製作ワークショップを企画・運営しました。PR活動(動画の制作、チラシ・ポスターを使った小学校での広報)やイベント当日の会場設営・進行にも主体的に取り組みました。



食産業学群が農林水産省委託研究に参画

スマート農業を体験

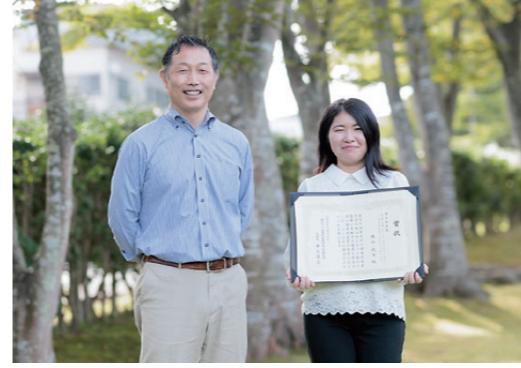
宮城県や県内の農業生産法人と共同で行われた農林水産省委託研究「労働力不足の解消に向けたスマート農業実証プロジェクト」に食産業学群が参画しました。スマート農業に取り組む生産法人での現場研修を行い、農業の現場で進化するテクノロジーを直に体験。農業にスマート技術を導入するメリットや課題点を学生が具体的にイメージする機会となり、座学だけでは得ることのできない気づきと理解につながる貴重な経験となりました。



「TOMODACHI J&J 災害看護研修プログラム」に 看護学群学生が参加し、最先端の現状を学ぶ

看護学群卒業生の船島遙さんが、2022年度に公益財団法人米日カウンシルージャパンが主催する「TOMODACHI J&J 災害看護研修プログラム2022」に7期生として参加しました。プログラムは、事前研修、米国研修、事後研修の3部構成となっており、2週間のオンラインによる米国研修でニューヨーク、ワシントンD.C.における災害医療や看護を専門とする施設や団体から講義を受講、最先端の災害医療や看護の現状などを学びました。

公益財団法人 米日カウンシルージャパン提供：転載禁



食産業学群卒業生が 東北畜産学会優秀発表賞を受賞

食の安全性と美味しさを高める観点から、動物が持つ特質を遺伝的に改良する食産業学群の須田教授。須田研究室卒業生の秋山紀賀さん(2020年度卒、現株式会社サイボクファーム所属)が、附属坪沼農場で実施していた卒業研究「竹活性炭の飼料配合による家畜排せつ物臭抑制効果と産肉性向上に関する研究」を2022年度東北畜産学会において共同で発表し、40歳未満で優秀な研究発表を行った者に授与される優秀発表賞を受賞しました。

企業・自治体との連携

秋保ワイナリー × 結城果樹園



企業と共同開発した「MYU シードル」
クラウドファンディングにて目標額達成

秋保ワイナリー・結城果樹園との交流から開始した地域連携プロジェクト「MYU シードル」にてクラウドファンディングを実施し、目標額を達成しました。シードルの商品開発やプロデュースに関して、学生によるアンケート調査やインタビューなどを実施して、若い女性をターゲットとした「はじめてのシードル」とコンセプトを策定しました。学内でラベルデザインコンペも開催し、東北復興支援・地域活性化を目的とした実践的なプロジェクトを通じた学びを深めています。

仙台市消防局



食産業学群と事業構想学群の学生が
仙台市消防局のプロモーションデザインに挑戦

2020 年度から研究推進・地域未来共創センターのコーディネーションにより、仙台市消防局（太白消防署）と連携し、市民の防火・防災意識向上に向けたプロモーションデザインに取り組んでいます。2022 年度は、食産業学群と事業構想学群の 3 年生がそれぞれの専門分野を活かして調査・企画・デザイン・制作に取り組み、ララガーデン長町にて、太白消防署との共同イベント「宮城大学 × 太白消防署 春の防火防災ラボ」を開催しました。

富谷市



富谷宿観光交流ステーション内に
宮城大学共創ラボ開設

2017 年より連携協定を締結している富谷市と、事業構想学群の風見正三教授・佐々木秀之准教授がアドバイザーとなつて進めてきた富谷しんまち地区の旧内ヶ崎醤油店跡地活用。2021 年 5 月に富谷宿観光交流ステーション「とみやど」がオープンし、とみやど内に「宮城大学共創ラボ」が開設されました。宮城大学共創ラボは今後、学生のフィールドワークやワークショップをはじめ地域で学ぶ拠点として展開されていく予定です。

宮城県



宮城県議選に向けた投票率向上の取り組み
「センキョ割 in 宮城」を提案

事業構想学群の学生が 2023 年の宮城県議会議員選挙の投票率向上を目指し、「宮城センキョ割実施委員会」を立ち上げ、「センキョ割 in 宮城」を宮城県に提案・実施しました。投票を証明する「投票証明書」を提示することで、協力店舗や企業で割引やサービスが受けられ、地域の店舗や企業と一緒にとなった取り組みは地域活性化にも貢献しました。学生たちは、SNS による広報活動や、ホームページで協力店舗・企業の紹介も行いました。



Message

CIC長メッセージ

キャリア・インターンシップセンター長

濱田一夫

人類の技術進歩はめざましく、産業革命以降、さまざまな困難を克服してきました。昨今ではインターネットや AI などの普及により、距離や時間、言語や文化を超えた交流さえも実現しつつあります。一方、気候変動による世界的な環境の変化や、人口の増減による社会への影響の増大など、解決すべき大きな課題も明らかになってきました。また、コロナ禍による混乱も落ち着きを見せ始め、経済活動も復活しつつある中で、テレワークなどの普及による労働環境の変化やさまざまなサービスの出現など、社会の構造も大きく変化しようとしています。このように世の中は、変化のスピードが想像以上に速くなり (Volatility 変動性), 何が起きるかわからなくなり (Uncertainty 不確実性), さらに、さまざまなものが複雑に絡み合い (Complexity 複雑性), 因果関係や解決策もはっきりしなく (Ambiguity 暧昧性) なってきています。これらの頭文字とて、VUCA (予測困難な時代) とも言われています。このような VUCA の時代において、企業や組織では迅速な意思決定が必要になります。そして、それを担う人材には今まで以上に、客観的な認識力や思考力の習得、内発的欲求や当事者意識の向上が求められるでしょう。

本学では、まさにこれに応えるため、高度な実学に基づき、豊かな人間性、高度な専門性及び確かな実践力を身につけ、グローバルな視点で地域社会や日本経済の発展に貢献できる人材を育成していきます。学生のみなさんのため、ご家族や関係者の方々のご協力に改めて感謝するとともに、今後とも一層のご指導ご鞭撻を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

幅広い分野で活躍する卒業生

看護学群

実践的な学びを活かし、看護師・保健師・養護教諭の現場で幅広く活躍しています。



東北大學病院 呼吸器内科病棟
看護師
近藤岬さん（2018年3月卒業）



青森県五所川原保健所 西北地域県民局
地域健康福祉部保健総室 保健師
田中良佳さん（2017年3月卒業）



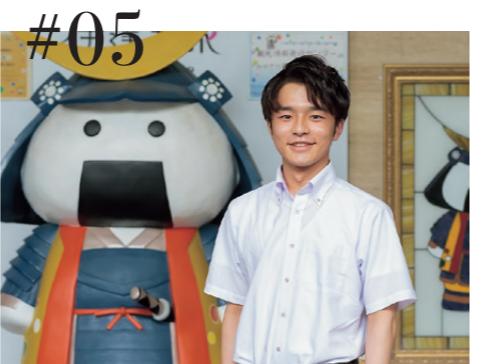
栗原市立栗駒南小学校
養護教諭
寺島未悠さん（2023年3月卒業）

事業構想学群

文系、理系に加えデザイン系に幅広さと実学に基づく実践力を



株式会社マイナビ 就職情報事業本部
就職ナビ統括本部 東日本統括部
三原月花さん（2019年3月卒業）



宮城県環境生活部共同参画社会推進課
遊佐虎太朗さん（2021年3月卒業）



株式会社オカムラ 商環境事業本部
店舗デザイン部 東北デザインセンター
相馬宏子さん（2017年3月卒業）

食産業学群

生命の活力である“食”を産業と科学の融合的視点で学び、夢を実現して世界と地域で活躍しています。



福島県水産海洋研究センター
漁場環境部 研究員
長沢茜さん（2022年3月卒業）



株式会社渡辺採種場
瀬峰研究農場
手塚洸来さん（2020年3月卒業）



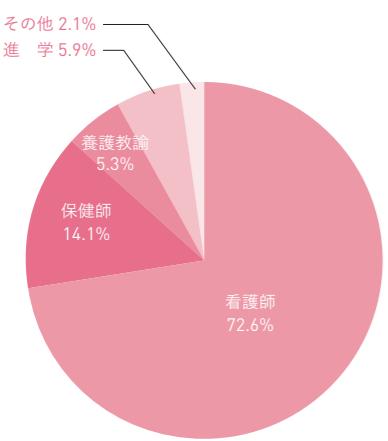
東日本フード株式会社
安全管理室
倉長真子さん（2021年3月卒業）

海洋生物に興味があり、地元・福島県に貢献したい思いで入府しました。研究員としてシラスとコウナゴを担当し、漁況予測技術の開発や不漁要因の解明に取り組んでいます。時には調査船に乗ることもあります。自分の行う研究がどのように漁業者に役立っていくのか目的を見据え、1歩でも前進するよう努めています。宮城大学では実験が多く、特に動物を扱う実験は印象的でした。専門的な知識や実験の基礎も身につけることができました。

研究農場で、エンドウマメやスイカなどの栽培管理や栽培指導、育種などを担当しています。農家の方々の助けになるような仕事がしたく、この会社を選びました。農家の方々に信頼されることを目標に、試行錯誤しながらも担当作物に対する理解を深めていくことにやりがいを感じています。大学で学んだ生育の基礎や、実習での失敗から得た気づきが現在の糧になっています。フィールドワークでは様々な作物に触れることができました。

看護学群進路データ

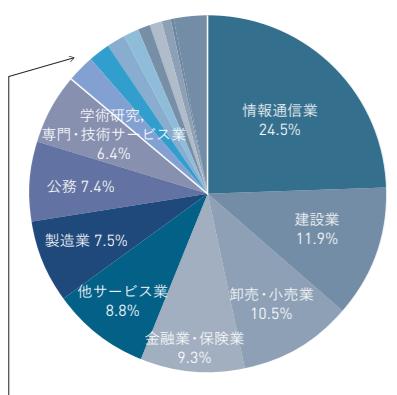
進路先一例(2018-2022)



【看護師】 東北大学病院／東北医科大学病院／JCHO仙台病院／国立病院機構仙台医療センター／国立病院機構宮城病院／東北労災病院／宮城県立こども病院／宮城県立精神医療センター／宮城県立がんセンター／仙台市立病院／石巻赤十字病院／大崎市民病院／仙台赤十字病院／東北公済病院／仙台厚生病院／仙台オーブン病院／公立黒川病院／松田病院／宮城県看護協会／宮城厚生協会／北里大学病院／国立がん研究センター中央病院／国立国際医療研究センター病院／横浜市立市民病院／兵庫県災害医療センターほか
【保健師】 宮城県／仙台市／石巻市／大崎市／角田市／栗原市／気仙沼市／白石市／富谷市／登米市／名取市／大郷町／川崎町／大和町／南三陸町／山元町／利府町／亘理町／岩手県／川崎市ほか
【養護教諭】 宮城県／仙台市／青森県／秋田県／岩手県／山形県／福島県ほか
【進学】 宮城大学大学院 看護学研究科／日本赤十字看護大学大学院 看護学研究科／聖路加国際大学大学院 看護学研究科／福島県立医科大学 別科助産学専攻／昭和大学 助産学専攻科／仙台医療センター附属仙台看護助産学校／秋田県立衛生看護学院 保健科ほか
※順不同

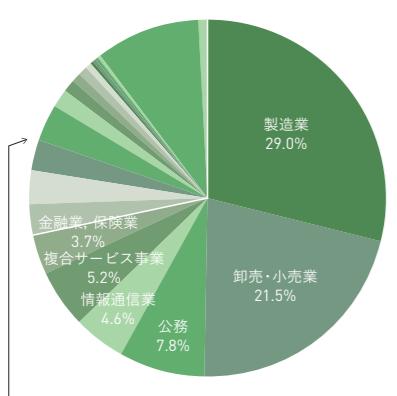
事業構想学群進路データ

進路先一例(2018-2022)



詳細は下記参照
不動産業・物品販賣業 2.5% **運輸業**, **郵便業** 2.0% **電気・ガス・熱供給・水道業** 1.6% **生活関連サービス業**, **娯楽業** 1.3% **教育・学習支援業** 1.1% **複合サービス事業** 1.1% **宿泊業**, **飲食サービス業** 0.8% **医療・福祉** 0.5% **進学** 2.8%

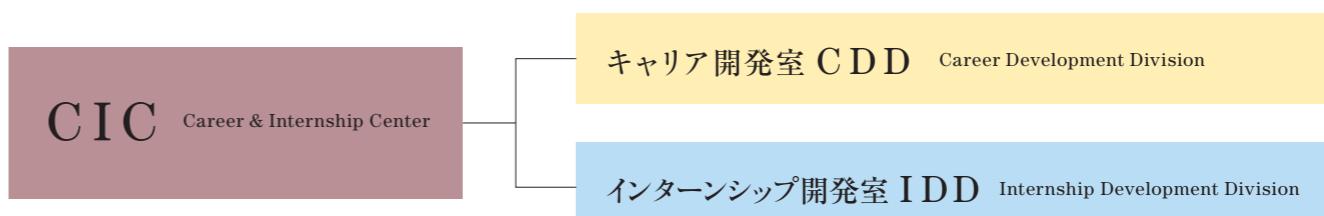
進路先一例(2018-2022)



詳細は下記参照
農業・林業 2.9% **学術研究・専門・技術サービス業** 2.9% **宿泊業**, **飲食サービス業** 2.8% **他サービス業** 3.3% **建設業** 1.6% **運輸業**, **郵便業** 1.3% **教育・学習支援業** 0.8% **生活関連サービス業**, **娯楽業** 0.7% **医療・福祉** 0.7% **電気・ガス・熱供給・水道業** 0.3% **不動産業・物品販賣業** 0.3% **漁業** 0.2% **鉱業**, **採石業**, **砂利採取業** 0.2% **進学** 9.6% **その他** 0.6%

キャリア・インターンシップセンター組織図

《2つの開発室による強固なキャリア形成支援》



求人・インターンシップのお申し込みについて

本学では、学生に迅速な情報提供を行うため、キャリア支援クラウドサービスを通じ、求人やインターンシップの情報公開を行っております。求人やインターンシップの情報をご提供いただける事業者様におかれましては、下記のサイトより企業データをご登録の上、本学へ情報をご提供ください。

□宮城大学ホームページ／キャリアサポート／求人・インターンシップ情報のお申し込み

<https://www.myu.ac.jp/employment/offer/>



学内「業界・企業研究セミナー」「個別企業説明会」の開催について

本学では、本学学生の採用に意欲的な事業者様から、学内で開催する「業界・企業研究セミナー」や「個別企業説明会」のお申し込みを承っております。

開催を希望される事業者様は、下記の各キャンパス担当部門までご連絡ください。

□宮城大学大和キャンパスキャリア開発室

看護学群・研究科, 事業構想学群・研究科

〒981-3298 宮城県黒川郡大和町学苑1番地1

☎022-377-8216 email:careerdev@myu.ac.jp

□宮城大学太白キャンパスキャリア開発室

食産業学群・研究科

〒982-0215 宮城県仙台市太白区旗立二丁目2番1号

☎022-245-1175 email:f-career@myu.ac.jp

大学が主催するインターンシップへのご参画について

本学では、学生の「豊かな人間性」「高度な専門性」「確かな実践力」を育成することを理念としており、その理念実現の一環として事業構想学群及び食産業学群においてインターンシップを正規科目として設置しています。参画をご検討の事業者様は下記お問い合わせ先までご連絡ください。

□宮城大学インターンシップ開発室

〒981-3298 宮城県黒川郡大和町学苑1番地1

☎022-377-8312 email:careerkaihatsu@myu.ac.jp



発行：2024年3月 発行者：宮城大学キャリア・インターーンシップセンター

□大和キャンパス（看護学群、事業構想学群）

TEL : 022-377-8216 FAX : 022-377-8282 email : careerdev@myu.ac.jp

□太白キャンパス（食産業学群）

TEL : 022-245-1175 FAX : 022-245-1534 email : f-career@myu.ac.jp

